



2025 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社串カツ田中ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 坂本 壽男
(コード番号：3547 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員管理部長 岩本 一将
(TEL. 03-5449-6410)

2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025 年 1 月 14 日に公表いたしました 2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績との差異について (2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,500	百万円 400	百万円 500	百万円 300	円 銭 32.46
今回公表実績（B）	10,299	676	693	610	66.41
増減額（B－A）	799	276	193	310	
増減率（％）	8.4	69.2	38.7	103.4	
(ご参考) 前第 2 四半期（中間期）実績 (2024 年 11 月期中間期)	8,043	451	492	277	30.20

2. 差異の理由

当期の業績において、創業祭や他業種とのコラボレーション等のキャンペーンの開催、メディアを通じたブランド認知の拡大、新業態の立ち上げや新商品の導入、コロナ禍で短縮していた営業時間の延長により、ご来店客数が計画値を上回り伸長いたしました。また、消費者物価指数が高騰する中、当期は価格改定を行わず従前の価格を維持していることも集客につながりました。

その結果、売上高は当初の予想を上回る結果となりました。各段階利益については、コスト管理の徹底等により販売費及び一般管理費は計画比で上振れすることなく推移したため、当初の予想を上回りました。

また、2025 年 3 月 1 日に実施いたしました連結子会社間の吸収合併に際し、吸収合併消滅会社の株式会社セカンドアローの繰越欠損金を引き継いだ結果、法人税等が減少し、親会社に帰属する中間純利益は当初の予想を大きく上回りました。

以 上